

「自動化＝高生産性」ではない！ 【事例で学ぶ】生産プロセスの 自動化の進め方

生産プロセスの自動化の適切な進め方／自動化の評価法／
止まらない自動化設備を目指すための故障・チョコ停トラブル対策

日時 2020年3月19日(木) 10:00~17:00
(9:30受付開始、休憩12:30~13:30)

主催 日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円
※後日、別の方が追加で申込をされる際は、備考欄に先に申し込まれた方のお名前と複数割適用希望と記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となります。予めご了承ください)



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。講座によりましては、申込者が最少催行人数に達していない場合、開催決定まで受講票ならびに請求書の発送を見合わせて頂く場合がございます。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
株日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

受講 申込書	3/19 自動化プロセス		お申し込みは FAX 03-5644-7215	
	■受講料：44,000円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円		※振込手数料は貴社にてご負担ください。	
会社名	フリガナ		業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL	
			FAX	
所在地	〒		E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考				

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

No.190577

開催主旨

生産現場の自動化・スマートファクトリー化に意欲的な企業は非常に増えております。しかし、「自動化」は、やみくもにロボットなどの機器を導入してもうまくいくものではありません。

「自動化」には「ヒト・モノ・カネ」の経営資源のうち、「ヒト」に依存していた生産プロセスを「モノ＝ロボット・自動機器」に効率的に置き換えていく「知見」が必要です。

つまり、現状の生産プロセスを自動化に向けて最適化する知見、自動化への費用対効果に関する知見、自動化＝ヒトが減ったことによって発生するトラブルに対する予防措置を講じる知見です。

本講座では、生産現場への自動化機器導入の考え方と生産性向上・自動化の評価方法について、機械の自動化に関する基礎的なことから生産プロセスの自動化まで、講師の実務経験や実施例・失敗談を交えてやさしく解説します。

講師

竹内技術士事務所 所長 **竹内 利一** 氏

【略歴】 1983年 株式会社日立産機エンジニアリング入社。
ロボット周辺装置、搬送・部品供給装置、試験装置など、主に自動化設備の設計を務める。
2015年 竹内技術士事務所を開設。
産業機械、自動制御、メカトロニクス、物流関連等の自動化設備の生産性向上のコンサルタントとして活躍している。
技術士（機械部門）。専門は、加工・ファクトリーオートメーション及び産業機械。
日本技術士会会員、日立技術士会会員、東京電機大学技術士会幹事、東京電機大学非常勤講師。

プログラム

I. 生産プロセスの自動化： 各種設計方法の特徴、自動化を どう進めるか

1. 生産プロセスの設計方法
 - ①トータル設計、②付加設計、
③組合せ設計、④改良設計
2. 設計方法の選び方

II. 自動化の費用対効果： 自動化をどう評価するか

1. 自動化の評価方法
 - ①費用・便益分析、②点数評価法、
③消去法
2. 生産方式の選定
 - ①ライン生産方式、②セル生産方式、
③ロット生産方式、④個別生産方式

III. 自動化設備における課題と対策： 故障とチョコ停、対策はできると ころから、予防保全

1. 生産効率阻害要因
 - ①稼働率と可動率、②設備7大口ス

2. 自動化設備のチョコ停対策

- ①チョコ停の要因、
②チョコ停対策の進め方

3. 自動化設備の故障予防

- ①自主保全、②専門保全、
③停止時間を減らし無人運転へ

IV. 安全な設備： 誤使用・不注意な使い方の防止、 機械の包括的な安全基準に関する 指針

1. 誤使用・不注意な使い方の防止
 - ①機械安全とリスクアセスメント、
②危険分類とリスクレベル
2. 機械の包括的な安全基準に関する指針
 - ①制限の決定、②危険源の同定、
③リスクの見積り、④リスクの評価

V. 具体的な事例： 具体的な実施例や失敗談

1. 成功した実施例
2. 失敗から何を学ぶか